



めむろ議会だより

Memuro Town Assembly information



これまでの経過

議会だより8月号でお知らせしたとおり、町は議会に対して、国民宿舎等の管理を受託している「めむろ新嵐山株式会社(以下「会社」という。)」の経営について、資金繰りがひっ迫し、危機的状況であることを公表しました(7月12日開催・第3回全員協議会)。

また、町は、この局面における対応策として、令和元年度から3年度までの町の委託料と収入実績とのかい離分を補助金として支出するとともに、今後の経営方針変更に向けての4つの対応案を明らかにしました(別表1・別表3)。

会社に対する町からの補助金として想定している金額は5千178万8千円であり、委託料の年額に相当する膨大な経費であることなどから、議会は7月臨時会議(7月28日開催)において特別委員会の設置を全会一致で議決し、「調査

の視点及び審査のポイント(別表2)」を定め、精力的に調査を進めることとしました。

●令和5年のこれまでの経過●

7月12日	町が会社の資金繰りひっ迫、危機的状況を議会に説明
7月28日	7月臨時会議において特別委員会設置を全会一致で議決 第1回特別委員会開催(正副委員長選任)
8月2日	第2回特別委員会開催
8月21日	第3回特別委員会開催
9月5日	第4回特別委員会開催

(別表1) 今後の経営方針変更に向けての対応案(町提示)

1	・指定管理期間の1年延長(令和6年3月→令和7年3月末) ・現行指定管理事業者との随意契約による契約延長(～令和7年3月)
2	町の委託料と収入実績の差額の補助(約5,200万円)
3	第3セクター(めむろ新嵐山株式会社)の清算(令和7年3月)
4	第3セクター以外の新たな運営方法の模索(指定管理前提、直営含め検討)

(別表2) 調査の視点及び審査のポイント(議会事項)

1	現行経営方針(財産の定義、事業の目的、成果と課題)
2	経営方針を変更する背景と理由(不可抗力と過失の区分含む)
3	町の資金支援計画(支援時期及び支援金額)
4	経営方針変更の手順とスケジュール

8/2
第2回
特別
委員会

5千200万円の追加支援、
町と議会、4時間の議論で「致せず」

新嵐山は誰のもの？
町民？町外利用者？

町の公の施設である「新嵐山スカイパーク(以下「新嵐山」という。)」の定義について、議会では、各委員から「そもそも、町民のための改革だったのか」「町民の声が失われ、企業性のみを追求した結果ではないか」という質疑が続出し、議会の総論としては、「町民の不満や憤りの声を基にした「町民視点の欠如」と指摘しました。

一方、町は「公共性」と「企業性」の二つの要素を満たす運営をしているとし、今回の改革について、町民を含めて新嵐山の利用者から一定の評価を得ており、特に今年度になり、新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ」という。))が5類に移行したことから、徐々に町内企業や町内会の利用も増加していると分析するなど、双方の認識は終始一致しないやり取りとなりました。

債務超過の要因は
経営責任？不可抗力？

町は、会社の危機的状況を回避するために補助金を支出する理由を、「令和元年度から、コロナの影響などにより、指定管理料の積算と実績のかい離が大きくなっている。かい離分の一部については、設計変更及び支援金として、指定管理先に支出をしているが、全額を支出しているわけではない。このため、差額分について、町が補助金として支出しようとするものであり、会社の資金繰りがひっ迫していることから、9月上旬までには資金が必要となるものである。」としました。

これに対し、議会からは、「指定管理料(委託料)の積算と実績のかい離の意味が理解できない。経営努力をしながら収支を改善していくのが大前提でないか」「コロナ禍における経営方法を読み間違えたのではないか」「補助金ではなく実

質の損失補てんではないか」「仮に今回補助金を投じることになったとしても、会社清算までにさらなる支援を要する事態になるのではないか」など、この要因についても、双方の認識は一致しないやり取りとなりました。

「3セク(※)」「清算時期」
妥当な時期とは…?

町は、今後の経営方針変更に向けて、4つの対応案の一つに示した「3セクの清算」を令和7年3月と定めました(2ページ別表1)。

これに対し、議会では、質疑終了後の自由討議において、「従業員モチベーションは担保できるのか」「今後名目を変えて、さらなる支出があるのではないか」「これ以上採算に合わないサービス提供をしてはならない。」「会社の清算時期を決定する前に、今後の嵐山のあり方を検討するのが最優先である。」など、会社の清算時期に対して、不安と疑問の意見が出されました。

(別表3) 追加支援(補助金)の内訳

(単位：千円)

	区分	町指定管理料		不足額 (①-②)
		①町の積算額	②収入実績額	
R1	スキー場	45,359	33,079	12,280
R2	スキー場	45,359	31,509	13,850
R3	スキー場	38,506	31,472	7,034
R4	宿舎	100,324	90,553	9,771
R5	宿舎	93,413	84,560	8,853
合計		321,961	271,173	51,788

※3セク：町100%出資の法人を第3セクターという。めむろ新嵐山株式会社(これに該当する。)

今後の動き

新嵐山への追加支援5,200万円の可否

9月21日(木)本会議で採決へ

—委託料年額相当の膨大経費 町は補正予算を提案—

8/21
第3回
特別
委員会

債務超過は町の見通しの甘々。町長認める。ただし、会社の責任には言及せず。

第2回特別委員会(8月2日開催)で、町と議会双方の認識が一致しなかった債務超過の要因について、継続調査とし質疑を行いました。

議会からは「債務超過は収支意識の欠落が最大の要因だと考える。この要因を明確にした上で新たな経営方針を立てていくべきではないか」「一般企業はコロナ禍でも経営努力をしている。詳細な経営分析をしていない中で、経営方針変更は理解できない。」などの質疑をしました。

町長は「経営判断を的確に指摘できなかったのは町の責任であり、収支バランスの見通しの甘さについては、大変申し訳なく思っている。」と町の責任を明らかにするとともに「新嵐山スカイパークは、令和6年度まで継続して運営していきたいので、令和5年度の決算状況も踏まえながら分析したい。」との答弁がありました。

R5年間委託料全額支出済(5,400万円)。
追加支援9月がリミット。

今回、町は、すでに今年度の指定管理料(委託料)全額を会社に支出したことを明らかにしました。

通常は、年間委託料を4月と10月の2度に分けて支払うところを、今年は4月と5月に変更し、すでに年間総額を支払ったとし、この経過は、5月2日付けで、会社から、新型コロナウイルス感染拡大の影響の長期化による宿泊の稼働低下および宴会・フランクの受注減や電気料金の高騰などにより、資金繰りが厳しい状況である旨の申し出(協議書)があったことから、町としても会社の支払遅延を防ぐための対策を講じる目的と説明しました。

その上で、さらに5,200万円の補助金支出は、9月をタイムリミットとする窮迫した事態だと述べました。

議会の判断困難。
今後の直近の収支を求める。

補助金を支出しようとする9月以降の新嵐山スカイパークの経営について、町は「これまでと同様のサービスを提供するなど大卒の事業内容は変更しない。」と述べました。これに対して、議会は「清算が決まっている会社に対して支援金を支出し、さらに、その後のサービスを同様にすることに疑問を感じる。サービスを縮小しながら人員もそれに見合った数にしていく計画を町民に示さずに理解は得られない。」「宿舎・スキー場・キャンプ場・公園をゼロベースで考えるのは、令和7年度以降で、清算までは現状維持で経費などを削減し、支出を圧縮し清算させる認識と捉えて良いか」「ゼロベースという観点であるなら、一旦、施設を休止して新たな形を考える方が町民の理解を得られるのではないか」と質しました。

これを踏まえて、町長は「清算

時期の目安を示さない中で、休止か継続とかの判断はできない。町民の意見を求めることは必要であるが、今はその時期ではないと認識している。今回の補助金支出については、政策的・政治的な決断であり、株主として会社の自助努力だけでは、累積赤字の解消は困難であるという判断によるものである。」と答弁しました。

質疑終了後の自由討議では、委員から「これまでのやり取りでは、9月議会に補正予算の提案をされても、議員として判断するための十分な情報が得られていない。」「会社に対する補助金支出後の経営計画が明確に示されなければ、補助金自体の意義がなく、町民に対して説明ができない。」「現行の経営をそのまま継続するのであれば、貴重な税金の投入は最小限にすべきである。」などの意見が出され、「今年度末(令和6年3月)までの収支計画」の資料を町に要求し、次回の特別委員会(9月5日開催)で追加調査をすることとしました。

2度の特別委員会(第2回・3回)では、それぞれ4時間に及ぶ活発な質疑となりましたが、会社が債務超過となった認識が議会と町とは大きくずれていたりと、会社への追加支援が「最後の手立て」となるかを町が明確に意思表示できないなど、議論の前提となる重要事項の一致に至らない結果となりました。

3回特別委員会終了後の自由討議においては、多数の委員から5,200万円の是非を判断するためには、町からの情報提供が不足しているとの意見が出されたことから、第4回特別委員会を開催し、追加資料を要求した上で改めて調査を行うことになりました(第4回特別委員会は9月5日に開催済。今月号は9月4日が校了のため、10月号議会だよりに概要を掲載します)。

9月定例会議における本会議の日程は、1日(金)、21日(木)、22日(金)、26日(火)の4日間です。特別委員会で調査を重ねた「追加支援5,200万円」については、21日に、町が追加の補正予算として提案する予定です。委託料年額相当の膨大な追加予算の可否を議事が判断する重要な日となります。

令和5年9月定例会議 一般質問

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などを町長などに求め、町が住民のための適切な町政運営をしているかをチェックするものです。

町政のそこが聞きたい

一般質問

9月21日(木) 13:30~

木村 淳彦 議員	1 公共事業による地域内経済循環と経済強化、 2 機構改革の成果と課題
菊池 秀明 議員	1 「LGBT理解増進法」の取り組み
中田智恵子 議員	1 アピアランスケアの支援、 2 帯状疱疹の予防

9月22日(金) 9:30~

中村 和宏 議員	1 少子高齢化社会に対応した住民自治の実現
堀切 忠 議員	1 高齢者の難聴に係る支援、 2 町内会活動への支援
渡辺洋一郎 議員	1 熱中症対策、2 発達支援の取り組み、3 株式会社モンベルとの包括連携協定
正村紀美子 議員	1 公有財産(土地・建物)の活用と今後の展望

ホットボイス

令和5年7月26日受理

「町議の皆さんの所信表明を聞きたい」

4月町議選において無投票当選になり、議員の皆さんの町に対する思いを何も聞けず、特に、初当選された方の所信表明くらい聞きたいと思っております。

今まで縁もゆかりもない芽室へ、なぜ議員を目指したのか等、町政に若い風を吹かせるのは非常に良いこととは思いますが、税金で賄う議会運営ですので、大変ではありますが、一町民としていつも議会だよりを楽しみに、そして、良い芽室町にいつも願っております。

(70代)

回答日(8月2日)

貴重な御提言をいただきありがとうございます。

このたび、町議会議員選挙が無投票になったことについては、議会としても重く受け止め、「議員のなり手」の方策を含めて検討していく考えです。

今回、お寄せいただいた「議員の所信表明に関する広報」については、他の町民の方からも同様の声が寄せられていることから、議会内部での取扱いについて協議を始めるところです。

議会だよりを楽しみにされていることを伺い、大変ありがたく思います。

芽室町議会が、より良いまちづくりにいっそう貢献できるよう、真摯に取り組んでいきますので、今後ともお気軽に声をお寄せください。

令和5年8月2日受理

「新嵐山の経営不振、議会は毅然と追求すべき」

嵐山の運営会社が清算するという新聞報道を見ました。社長が変わってから、我々高齢者から若者へ、町民から観光客へと対象者を変えていった運営方法に不満を抱きながらも、経営改善のためならやむを得ないと自分を納得させていました。

しかし、今回の報道では、経営状況が苦しいから清算するという話。当然、通常であれば社長は辞任ですし、副町長も辞めるべきと考えます。

議会としてはどのような対応をされるのでしょうか？我々町民の代表として、甘い対応ではなく、毅然とした対応で責任問題を追及してください。よろしくお願いします。

(無記名)

回答日(8月22日)

貴重な御意見をお寄せいただきありがとうございます。

御指摘の「嵐山の経営状況悪化」の件については、議会は町から7月12日に正式に説明を受け、その後、この状況の重要性と対応の緊急性を鑑み、7月28日の町議会臨時会議において「新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会(以下「特別委員会」という。)」の設置を全会一致で議決したところです。

今日まですでに、2度の特別委員会を開催し(8月2日・21日)、具体的な調査を進めており、今後も精力的に取り組んでいきますが、特別委員会では、①現行経営方針、②経営方針を変更する背景と理由、③町の資金支援計画、④経営方針変更の手順とスケジュールについて、の4点を主な視点として調査を進めていきます。

特別委員会の調査概要については、議会だより8月号(8月10日発行)から掲載し、今後も随時お知らせしますので、お気付きの点がありましたらお気軽に声をお寄せください。

8月の委員会活動報告

(委員が執筆しています！)

総務経済常任委員会 第7回 8月7日(月)

●食の魅力発信事業について

シティプロモーション事業の一環として、芽室町の魅力である「農業」・「食」・「人」について生産者が、首都圏の住民に発信することで芽室町の魅力を知ってもらい、芽室町の交流人口・関係人口の創出・拡大を目的とした事業の内容及び計画の説明を受けました。

●地域活性化起業人制度を活用した事業について

地域活性化起業人制度を活用し、起業人が町内事業者との関係性構築や地域の強みと課題・可能性を把握した中で、発案した事業に関しての企画概要の説明を受けました。

●公営住宅に関する訴えの提起について

公営住宅の明渡し及び滞納家賃の支払いを求めるための訴えに関する説明を受けました。

厚生文教常任委員会 第6回 8月7日(月)

●公立芽室病院の経営状況(令和5年度第1四半期)について

入院、外来とも昨年と比べ減少している。外来はコロナ検査の減少が要因で、入院の減少は、第1四半期の結果だけでは要因分析は難しいとの説明を受けました。



●公立芽室病院クラウドファンディングの取り組みについて

地域包括ケアシステム実現に向け、訪問看護車両購入を目的としたクラウドファンディングを実施する。訪問看護や訪問リハビリのニーズが高く、今後更に在宅医療件数が伸びる見込みなので、車両を増やしたい(現在3台のリース車両)。目標額は500万円とし、新規車両2台を購入する予定との説明を受けました。

訪問看護・リハビリ等の将来展望は？との質疑に対し、訪問看護は現在50人程度で月に何度かの訪問、リハビリは13人。現時点で2～3倍の潜在的利用希望者が存在するものと捉えているとの答弁がありました。

合同委員会 第3回 8月21日(月)

●物価高騰対策事業について

原油価格・物価高騰の影響により、電気代等の負担が増加している保育所・福祉施設等のうち、国・道の支援に該当しない事業者並びに現段階で飼料や資材高騰の影響が特に大きい酪農経営者の負担軽減を図るための支援金支給について、説明を受けました。

国が行った飼料価格高騰緊急対策事業における都府県と北海道の差額分を支給する「酪農経営者への支援」において、委員からは「町の独自支援が必要であり、検討を行ったのか？」という質疑に「昨年は独自支援を行ったが、今回は国の支援策の補完を趣旨とした。」との答弁がありました。

今後も物価高騰に対する支援策については、継続的に協議を進め、より良い支援策を検証する必要があると考えています。

議会白書

議会白書とは、町民の皆さんに議会の活動を公表し、情報を共有することにより、議会活動の活性化を図っています。

会議名		日時	休憩時間	実質時間	議件	傍聴人数	ネット中継アクセス数
		会議時間					
全員協議会	第5回	8月21日 15:40～15:45	0:00	0:05	1. 議会費補正予算案(9月議会)について 2. 第18回マニフェスト大賞の応募について	1	(140)
常任委員会	総務経済 第7回	8月7日 9:30～11:22	0:42	1:10	1. 食の魅力発信事業について 2. 地域活性化起業人制度を活用した事業について 他	0	(67)
	厚生文教 第6回	8月7日 13:30～14:31	0:01	1:30	1. 公立芽室病院の経営状況(令和5年度第1四半期)について 2. 公立芽室病院クラウドファンディングの取組みについて	2	(67)
総務経済・厚生文教 常任委員会合同委員会	第3回	8月21日 15:15～15:28	0:01	0:11	1. 物価高騰対策について	1	(140)
議会運営委員会	第8回	8月2日 13:30～13:55	0:11	0:14	1. 議会だより8月号について 2. 議会だより9月号の編集企画について 他	0	(71)
	第9回	8月22日 13:30～13:58	0:05	0:23	1. 令和5年芽室町議会定例会9月定例会議の運営について 2. 先進地事務調査について 他	0	3
新嵐山スカイパーク 経営改革調査 特別委員会	第2回	8月2日 9:30～16:13	2:58	3:45	1. 新嵐山スカイパークの今後について	1	(71)
	第3回	8月21日 9:30～14:53	1:46	3:37	1. 新嵐山スカイパークの今後について	4	(140)
小計		16:39	5:44	10:55		計9	平均87.4
第1回議会モニター会議		8月2日 18:30～20:00	0:00	1:30	1. 意見交換「モニターの皆さんが日々の暮らしで気になること(フリートーク)」		※
小計		1:30	0:00	1:30			
合計		18:09	5:44	12:25		計9	平均87.4

ネット中継アクセス数 () 同一日に複数の会議が中継された場合は各会議の合計アクセス数を表示
※ インターネット中継を実施しなかった会議

表紙写真

「芽室幼稚園3歳児クラス」朝の自由遊びの一コマです。
単純なブロックの積み重ね遊びから発展し、見立てあそびに移行しています。今回はブロックをピアノと座席に見立て「演奏会」が始まりました。楽しい音楽が聞こえてきませんか？



9月定例会議のご案内



21日 9:30～ 補正予算・一般質問

22日 9:30～ 一般質問 26日 9:30～ 最終日

議会傍聴で
芽室の未来が見える！



インターネット中継は
コチラから視聴できます。
(過去の録画もあります)

団体や多数で傍聴を希望される方は、資料準備のため事前に議会事務局までご連絡ください。(0155-62-9731)

■暑い日が続きましたが体調いかがでしょうか。芸術・スポーツ・食欲など「〇〇の秋」にはいろんなものがありますね。いろんなことに打ち込める絶好の季節の到来です。体調にお気をつけて秋を楽しみましょう。



渡辺洋一郎

■引き続き議会の動きにご注目ください。



常通直人

■9月1日から9月26日までは9月定例会議を開催中。会期中11日から14日までの日程で前年度の決算について特別委員会を開催し全議員で審査することから9月議会は「決算議会」と言われるゆえんです。この決算を受けて次年度の予算編成へと繋がってまいります。



西尾一則



LINE@

友だちになってね!!
@memuro-gikai2014



芽室町議会の概要を紹介
スマートフォンサイト

▶ スマートフォンサイトを見る



公式 Twitter アカウント
@memuro_gikai



公式 facebook ページ
http://www.facebook.com/memuro.gikai

随時
更新中